



独立行政法人

国立病院機構盛岡医療センター

地域医療連携室だより

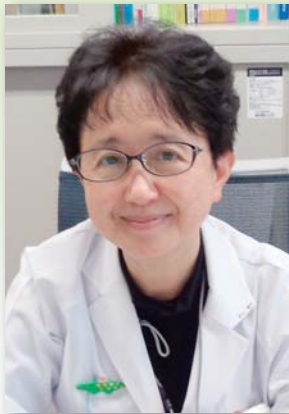


No. 37

(令和5年1月発行)

新年のご挨拶

副院長 佐々木 美香



地域の先生方におかれましては、日頃より大変お世話になっております。2023年、新型コロナウイルス感染症（以下コロナ）拡大後、はじめて行動制限のないお正月を迎えました。本年も私たち医療従事者はコロナに振り回される1年と覚悟を新たにしたところです。（文章の最後に私のリフレッシュの場「My まちなかりゾート」を紹介していますので、最後までお読みいただければ幸いです。）

さて、私は小児科医ですので、その観点で今回は述べさせていただきます。

(1) 小児のコロナについて：小児は重症化しにくいといわれています。幸い当院に入院した子供たちも重症化することなく全員退院しています。しかし国内でも基礎疾患のない小児（20歳以下）の死亡例（2022.年8月時点で基礎疾患なし13例；52%、4歳以下40%）も報告され油断はできません。加えて、保育園や学校などで流行すると、無症状や軽い子どもたちがスプレッダー（拡散者）となり社会全体に影響を及ぼします。

日本小児科学会では、4歳以下のワクチンは重症化だけでなく発症予防の効果も70%以上あることから、小児へのコロナワクチンを推奨する声明を出しています。当院では木曜日9:30～（6か月～4歳：20人）と金曜日14:00～（5歳～11歳：60人）に希望者に対して接種しています。当院に受診歴がなくても接種できますので、希望のある方にはお声がけいただければと思います。

(2) 小児救急疾患について：以前は、時間外急患外来は小児が多くを占め、さらに急変することがあり気が抜けませんでした。しかし生後2か月からのHib・肺炎球菌ワクチンが定期接種となってから、髄膜炎や細菌性肺炎は激減し、岩手県の乳児の細菌性髄膜炎はほぼ0となっています。大葉性肺炎（細菌性肺炎）も同様です。さらにロタウイルスワクチンも定期化され、冬の風物詩、白色便下痢症もほぼ0、重篤な脱水症の点滴に追われることもなくなりました。

(次ページへ続く)

- 病院理念● 生命を尊重し、地域の人々に安心・信頼される医療を提供する
- 基本方針●
 - ①安心・安全な医療を提供します。
 - ②病病連携・病診連携を通して地域医療に貢献します。
 - ③専門的な知識と技術、倫理観を備えた職員を育成します。
 - ④職員は互いに尊重・補完しあい、協働し良質な医療を提供します。
 - ⑤信頼される医療を提供するための経営の健全化を図ります。

一方、相変わらず熱性痙攣は救急車で運ばれてきます。多くは5分以内に収束し、ウイルス感染がほとんどですので抗菌薬も不要です。ただ、低血糖の痙攣は脳へのダメージが強く後遺症を残しますので、直ちに血糖を測定し低ければブドウ糖静注が必要です。低血糖は抗菌薬が原因のことがあり、ピボキシル基含有抗菌薬（フロモックス、メイアクト、トミロン、オラペネムなど）は、4日以内の短期間であっても低カルニチン血症・低血糖症が生じるため、注意が必要です。

以前、秋には年長児が喘息発作で多数受診しましたが、小児に吸入ステロイド薬が普及するにつれ時間外受診は激減しました。感染症に伴った乳幼児喘息がほとんどです。かつて当院は小児喘息児の長期入院施設でしたが、現在は重症心身障がい者病棟になっています。

(3) 食物アレルギー（以下食アレ）について：岩手県アレルギー拠点病院（小児分野）として県内各地から患者さんをご紹介いただいています。食アレは1歳未満が最も多く、卵、乳、小麦が主な原因ですが、最近ナッツアレルギーが増えています。食物抗原は皮膚から感作され、ハウスダストにはダニ以上の食物抗原が含まれていることが分かっています。健康志向により家庭でナッツを食べる機会が増え、ハウスダストにナッツ抗原が含まれ皮膚感作することが増加の一因かもしれません。

なお、乳児期には経口免疫寛容が起こりやすいため、食アレが確認されたお子さんには、乳児期でも負荷試験後、安全に「食べ進める食事指導」（経口免疫療法）を行っており、遅くとも1歳半には摂取可能となっています。食物アレルギーのエピソードがあれば、乳児であっても待つことなくご紹介いただければ幸いです。

最後に。最近盛岡市バスセンターがリニューアルしました。飲食店もおしゃれで魅力的ですが、3階のホテル「マザリウム（混ざって何かを生むの造語）」は特にお勧めです。花巻の「るんびにい美術館」のアーティストたち（知的障害者）の作品がちりばめられており、何よりおしゃれで機能的、温泉やサウナ、ジャズ喫茶もあります。私の「My まちなかりゾート」に（勝手に）認定し、たまに1泊して日々の疲れを癒しています。コロナの出口が見えずストレスフルな医療従事者、日常を離れて気軽に行ける「まちなかりゾート」でリフレッシュしてはいかがでしょうか。

睡眠時無呼吸症候群＜SAS＞とは

呼吸器内科医長 高原 政利

睡眠時無呼吸症候群＜SAS＞は成人男性の約3～7%、女性の約2～5%が罹患し、男性では40～50歳代が半数を占める一方で、女性では閉経後に増加する傾向が見られます。睡眠中の無呼吸を繰り返すことで様々な合併症を引き起こし、特に中等～重症のSASを治療せずに放置してしまうと、冠動脈疾患や脳血管障害等により、8年後には約40%の割合で死亡するというデータがあります。また、自動車事故率も高く、他人をも巻き込んでしまいます危険性があります。一方で、適切な治療（CPAP療法）を行えば、睡眠時無呼吸の無い人と同程度の生存率が期待でき、事故率も大幅に減少します。このような観点から、SASに対する正確な診断と適切な治療がとても重要であることがうかがえます。

当院でもSASに対する検査を積極的に行っております。まずは問診を行い、その後携帯型装置による簡易検査を行います。ここでSASが疑われた場合は、1泊2日入院にて睡眠ポリグラフ検査＜PSG＞を実施し、睡眠中の呼吸状態や睡眠の質などを評価し、確定診断を行います。その後重症度に応じて、適切な治療を提供します。

SASが疑われる患者さんがいらっしやいましたらお気軽に当院へご相談ください。



みんなで伸ばそう健骨寿命



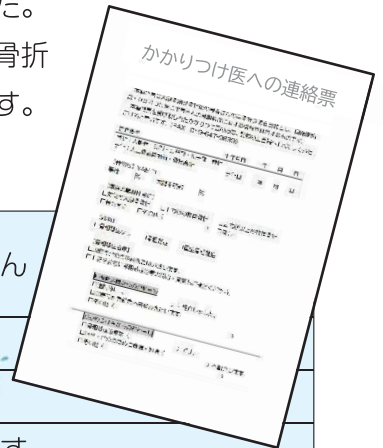
F L S チーム事務局 梶谷 直美

私達 F L S チームは表題をスローガンに、骨粗鬆症により一度脆弱性骨折を起こした患者さんが、二度目の骨折を起こさないよう予防と治療を行うチームをスタートさせました。

薬物治療だけでなく、運動と食事面からもチームでサポートし、岩手県の骨折患者減少の為、皆様と力を合わせて予防と治療にあたりたいと考えております。

<骨折患者さんの紹介から逆紹介までの流れ>

①地域医療連携室へ患者紹介用紙（同封）と紹介状をFAX	手術適応患者の紹介は原則お断りしません
②手術	保存選択の場合もございます
③治療薬導入検討(持参薬は継続)	患者さんに合った薬剤を選択します
④退院後初外来受診	当院で行い、転倒や体重の確認を行います
⑤逆紹介	「かかりつけ医への連絡票」と「骨粗鬆症治療ノート」に記入し、他に何も問題なければ、逆紹介させていただきます。



退院後患者さんはかかりつけ医にて、安心して治療継続が出来ます。骨粗鬆症患者さんの日常生活、投薬、栄養、運動に関しまして、質問なども F L S スタッフがお受けいたします。このバッジを目印にお気軽にお声がけ下さい。お返事は1週間程度お待ちいただく場合もございますが、電話・FAXでもサポートさせていただきます。



☎ 019-908-7001 Fax 019-647-9339

(いずれも連携室直通)

骨の為に骨骨(コッコツ)と🍌 同封のチラシを活用ください 🍌

1	プラスワンの食事 🍌 (乳製品が最もカルシウムの吸収率が高いです)
2	すき間時間を利用した運動 🍌 (骨と体幹へ刺激を与え骨量・筋肉量を維持し、転倒予防しましょう)
3	窓際で日光浴 🍌 (簡単にできて、ビタミンDが骨吸収を助けます)

国立病院機構盛岡医療センター 診療担当医一覧表

令和5年2月1日現在

【外来診療受付時間】 月～金曜日：8:30～11:00（急患については随時対応）

【電話による予約受付時間】 月～金曜日：13:00～17:00 **専用電話：019-645-4564**

（小児科の予約受付時間） 月～水曜日：8:40～12:00、13:30～17:00 木・金曜日：8:40～12:00

※小児科の予約は代表電話（019-647-2195）へご連絡ください。

診察ご希望の方は、下記の曜日、時間等をご確認の上、ご予約ください。

診療科目	新・再別	月	火	水	木	金	
呼吸器内科／ 一般内科	午前	新患・再来	高原政利 山田博之	木村啓二 只左一也	高原政利 只左一也	山田博之 木村啓二	☆東北大学 呼吸器内科医師
	午後	新患・再来 (急患のみ)	高原政利	山田博之	只左一也	肥田親彦	交代制
循環器内科	午前	新患・再来	肥田親彦	—	—	肥田親彦	☆東北大学 循環器内科医師
	午後	新患・再来	—	—	☆田巻健治 (13:00～)	—	【ペースメーカー外来】 肥田親彦 (第2・4週、14:00～15:00)
内科 (糖尿病内科)	午前	新患・再来	—	—	☆岩手医科大学 糖尿病・代謝内科医師	—	—
	午後		—	☆岩手医科大学 糖尿病・代謝内科医師 (第2・4週)	—	—	
消化器内科	午前	新患・再来	☆工藤典重	☆穴倉かおり	—	—	☆仙台医療センター 消化器内科医師 (第2・4週)
神経内科	午後	新患・再来	—	小原智子	—	村田隆彦	—
リウマチ科 (内科)	午前	新患・再来	千葉実行	千葉実行	千葉実行 ☆岩手医科大学 リウマチ内科医師	—	千葉実行 (最終週は休診)

※呼吸器内科・一般内科の午後外来は、新患・再来・予約外の急患について午後1時30分～3時30分の時間で診療を行います。

診療科目	新・再別	月	火	水	木	金	
整形外科・ リウマチ科 (整形外科)	午前	新患・再来	大山素彦	大山素彦 (第2週は再来のみ)	【脊椎外来】 大山素彦 (紹介予約制) 午前9時～11時	本田剛久	本田剛久 (第1・2・3・5週)
			本田剛久	本田剛久 (第1・3・4・5週)			☆大竹高行

※整形外科の第2火曜日、第4金曜日は再来のみの受付になります。

診療科目	新・再別	月	火	水	木	金
小児科 (消化器・アレルギー) 予約制	午前	新患・再来	佐々木美香	佐々木朋子	佐々木美香	—
	午後	新患・再来	佐々木美香	佐々木朋子	佐々木美香	—
			佐々木朋子			

※小児科は消化器・アレルギー等の専門外来になります。

診療科目	新・再別	月	火	水	木	金
リハビリ テーション科	午前	再来	—	☆山口一彦 (第4週)	—	☆山口一彦 (第4週)

「☆」は、非常勤の先生です。

独立行政法人国立病院機構盛岡医療センター

岩手県盛岡市青山一丁目25番1号

病院代表 TEL 019-647-2195

FAX 019-646-1195

<https://morioka.hosp.go.jp/profession/index.html>

